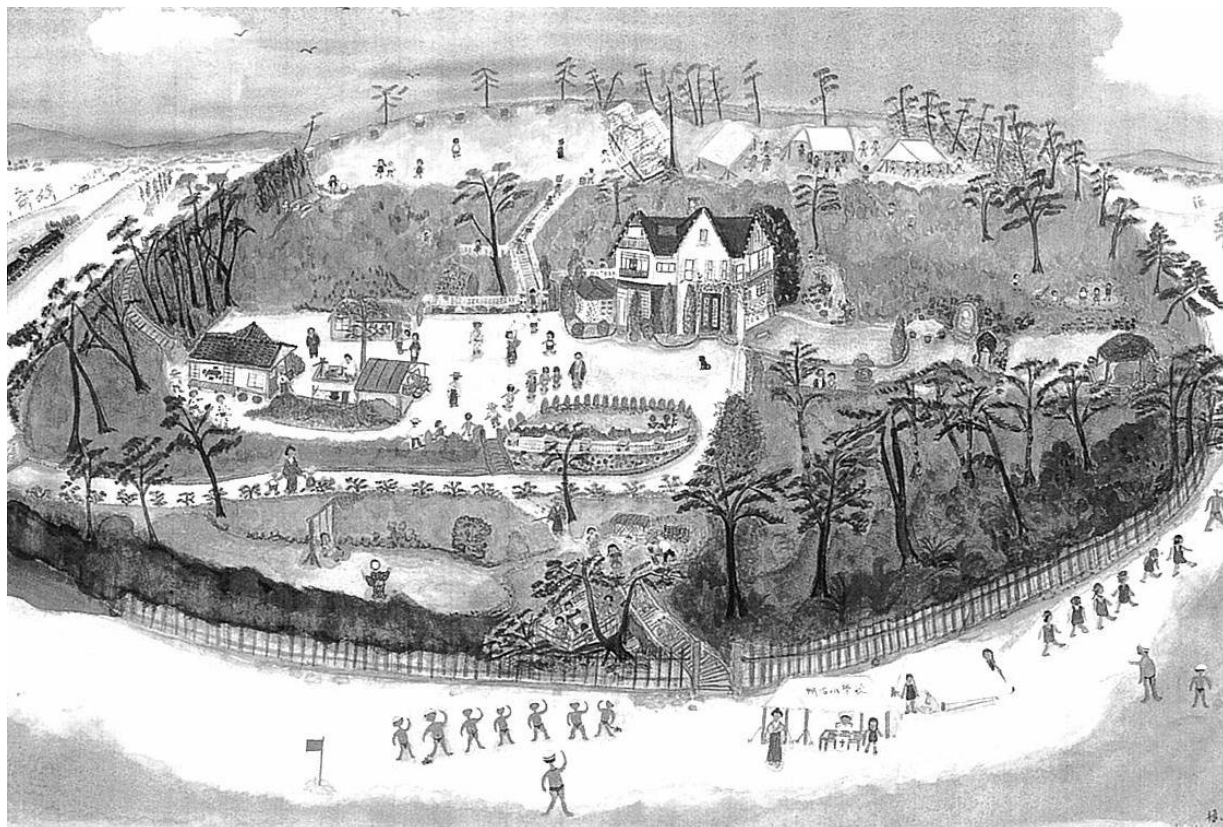


# 第10回 櫓山荘子ども俳句大会表彰式

祝10周年記念大会



昭和初期の櫓山荘

原画 東郷啓子氏（俳人 橋本多佳子の三女）

日時：平成26年10月25日（土）  
会場：櫓山荘公園（小倉北区中井浜）

## 表彰式次第

- 1 アトラクション 北九州市消防音楽隊・カラーガード隊
- 2 主催者あいさつ 櫛山荘子ども俳句大会実行委員会  
会長 石川 一步 (北九州俳句協会会長)
- 3 来賓あいさつ 小倉北区長 横矢 順二
- 4 表彰状授与
- 5 講評 福岡県俳句協会会長 岸原 清行
- 6 記念撮影

### 特別賞

#### 大賞

びょうしつのまどからみえるなつのそら

北九州市小学校 5年 佐々木 雄真

#### 子ども俳句大会10周年記念賞

若竹は天をつらぬく一つの矢

岡垣町小学校 6年 鈴木 愁也

#### 北九州俳句協会会長賞

百点を祖母に報告墓参り

北九州市中学校 1年 鎌田 理玖

#### 文学館館長賞

水鉄砲かけ合いぬれ合い笑い合い

北九州市小学校 5年 小野 和美

#### 小倉北区長賞

ゆうだちがわすれていったにじのはし

北九州市小学校 6年 土川 百恵

#### 教育委員会賞

ユニホーム戻れぬ夏のおいする

北九州市中学校 3年 安藤 実佑

#### 小倉北区自治総連合会会長賞

船のりがきりっと語る夏の海

北九州市中学校 3年 野口 颯

#### 杉田久女賞

鰯雲夕日の横でおよいでる

北九州市小学校 5年 江上 采丞

#### 橋本多佳子賞

妹の麦わらぼうし光ってる

北九州市小学校 5年 横山 舞佳

#### 公益財団法人芳賀教育文化振興会賞

きとがえり虫の鳴き声森のにおい

北九州市中学校 3年 奥村 紘

#### 西日本新聞社賞

盆踊り空でじいちゃん踊ってる

岡垣町中学校 1年 吉田 涼雅

## 石川 一步 選

ほととぎす夏を知らせにやってくる	北九州市小学校 5年	加藤 愛子
そうめんを食べると夏の味がする	北九州市小学校 6年	永瀬 采音
機中より入道雲にごあいさつ	北九州市小学校 5年	清水 友依子
太陽は真夏の空の宝物	北九州市小学校 6年	矢野 月愛
海開き潮の香りを風運ぶ	北九州市小学校 6年	田中 美衣
思い出と宿題残し夏終わる	北九州市小学校 6年	小林 祐紀
ふくろびわ花がさくよう見えている	岡垣町小学校 6年	曾我部 蒼汰
風が吹き揺れる風鈴唄い出す	北九州市中学校 3年	石橋 祉穂
セミの声大きくなるほど夏がくる	北九州市中学校 2年	岩尾 葵
虫の音は夜がかなでるハーモニー	北九州市中学校 2年	松尾 直幸
万緑の森の先には金閣寺	北九州市中学校 3年	白石 衣麗
山の中いろんな虫のコンサート	北九州市中学校 1年	坂田 恵望

## 岸原 清行 選

ひまわりは畑に咲いてる太陽だ	北九州市小学校 5年	迎 咲月
夏の夜聞こえた声は星の声	北九州市小学校 6年	北原 七星
あさがおが空つかもうとつるのばす	北九州市小学校 6年	河田 音羽
盆おどりたいこちょうちん皆おどる	岡垣町小学校 5年	林 恭雅
なえしろはまるでみどりのじゅうたんだ	岡垣町小学校 6年	下畑 勇晟
シロップをにゅうどう雲にかけたいな	岡垣町小学校 6年	江頭 大樹
燃える夏仲間と手にした優勝旗	北九州市中学校 1年	榎田 尚太
かぶと虫じまんのつのが光ってる	北九州市中学校 2年	政田 航大
新緑の中で輝く金閣寺	北九州市中学校 3年	中西 尚豊
清水の舞台から見た京の春	北九州市中学校 3年	財津 龍平
夕焼に友と私の影ぼうし	岡垣町中学校 1年	今村 栞奈
夏空に乗馬の蹄轟けり	岡垣町中学校 3年	阿部 日花里

## 深川 淑枝 選

夏の日はきれいな海を思ってる	岡垣町小学校 5年	松崎 彩花
日焼けはね空を見上げた思い出だ	北九州市中学校 1年	瀬戸 優里
その日まで夢ためる場所夏の空	北九州市中学校 3年	永野 由唯
水ふうせん小さな海を持っている	北九州市中学校 3年	多田 あゆみ
高跳びで跳んで見上げる夏の空	北九州市中学校 2年	樋口 愛莉
海風の塩の匂いと渡り鳥	北九州市中学校 2年	志原 匠
陽炎の立つその先に南禅寺	北九州市中学校 3年	栗栖 亜実
清水の舞台を包む若葉風	北九州市中学校 3年	安永 祐太
山若葉水面に映る金閣寺	北九州市中学校 3年	田中 優希
除夜の鐘今年の僕にさよならを	北九州市中学校 3年	加世田 樹
座禅組み若葉ざわめく建仁寺	北九州市中学校 3年	宍戸 美咲
夜空から火薬のにおい花火ちる	北九州市中学校 3年	勝尾 覽



# ろざんそう ひさじょ たかこ 櫓山荘と杉田久女、橋本多佳子

櫓山荘公園（小倉北区中井浜）には、櫓山荘（ろざんそう）という洋風の建物が建っていました。大正9（1920）年に小倉に住んだ実業家橋本豊次郎（はしもととよじろう）が自分で設計し、建築したものです。豊次郎は児童文化の振興や様々な文化活動に関わり、櫓山荘は多くの文化関係者が集まる場所（文化サロン）となりました。

当時の俳句界の中心人物であった高濱虚子（たかはまきよし）もこの櫓山荘での俳句の会に出席しました。その会で豊次郎の妻橋本多佳子（はしもとたかこ）は、俳句のすばらしさを知ることになり、その会に出席していた小倉の俳人杉田久女（すぎたひさじょ）に俳句を覚えてもらうことになりました。後に、この二人は、俳句の世界において大きな業績を残し、近代女性俳句の源流と評価されています。

櫓山荘は既になくなりましたが、文化サロンであった櫓山荘やその櫓山荘で出会い、俳句の世界に大きな足跡を残した杉田久女、橋本多佳子を記念して「櫓山荘跡」の碑が、平成15年秋に建設されました。その後この一帯が北九州市によって「櫓山荘公園」として整備されました。

俳句づくりを通じて、自然や季節にふれあい、その感動を言葉で表現してほしい、櫓山荘やそこにまつわる文化や歴史を知ってほしいとの想いから、「櫓山荘跡」の碑の建設に関わった人々で、平成17年から始めたのが、櫓山荘子ども俳句大会です。



久女の句

餅こたまして山ほととぎすほしいまま（日本新名勝俳句金賞句）  
花衣はなころもぬぐや纏まとわる紐ひもいろいろ

多佳子の句

乳母うばぐるま車夏まの怒涛どとうによこむき  
いなびかり北よりすれば北を見る

## ●杉田久女

明治23（1890）年～昭和21（1946）年  
お茶の水高等女学校卒業後、明治42年  
旧制小倉中学（現小倉高校）の図画教諭  
杉田宇内の妻として移り住む。大正5年  
兄の手ほどきで句作を始め、昭和6年には  
日本新名勝俳句で全国10万余句の中から  
金賞を射止める天性の才能を發揮した。

## ●橋本多佳子

明治32（1899）年～昭和38（1963）年  
大正6年橋本豊次郎と結婚、大正9年櫓山  
荘を新築し小倉に移り住む。杉田久女に俳  
句の手ほどきを受け、「ホトトギス」に投句。  
昭和4年に大阪に移り、山口誓子に師事し  
「馬酔木」同人となる。昭和25年「七曜」  
主宰となる。

今回、小学校20校、中学校21校、特別支援学校1校の4,068名の児童生徒の皆さんから  
応募をいただきました。どうもありがとうございました。

## 主催：櫓山荘子ども俳句大会実行委員会

北九州俳句協会      北九州市立文学館  
北九州市教育委員会      北小倉校区自治連合会  
久女・多佳子の会      小倉北区役所総務企画課

協力：岡垣町教育委員会      公益財団法人芳賀教育文化振興会  
北九州市消防音楽隊・カラーガード隊

後援：西日本新聞社